

社会諸科学を、近経とマル経とを統合する系論

北野正一 兵庫県立大学名誉教授

概要：

発想。万学の祖 Aristotle 曰；アテ共和国の直接民主制は衆愚政治に陥る、有能な哲人政治を。近代市民革命曰；人間性の解放を、古代希に帰れ。社会契約説で代議民主制と市場経済だ。Scots の Smith はこれを根拠付けて曰；マニファクトアで分業が深化し、価格が媒介して国富を齎す、その歪は共感と理性的公平感を持つヒトが代議制で是正する。仏の社会学者 Conte は社会科学の任務を曰；社会有機体=系を論理的、実証的に根拠付け、将来社会を予測し予知することだ。Marx は答えて曰；学士論文『デモクリトスの自然必然観と快楽主義エピクロス^エのヒトの恣意』で必然と自由の関係を問い、以下答える；近代の理想・古代希は道具と家僕を経済的基礎とする市民による直接民主主義の奴隷社会だ。資本制は機械制大工場を経済基盤とし、形式的に自由で平等な市民を有産資本家と無産労働者に二分した。労働者は労働市場で賃労働商品となり生産過程で資本の機械に隷属して搾取され、資本家が蓄積する。だが、歴史の弁証法が機械を共有革命して、名実共に自由で平等な人々の自覚的な連合体が実現する。

古代アテは直接民主下の手工業単純商品の奴隷社会。Marx の構想は機械下の自由人の連合体。そこで、直民を基礎とした代議民主制の下で、機械を共有した単商市場経済モデルを作ればよい。○系の祖 Aristotle；生物は各要素がその役割を果たして自己を維持・変化させる有機体だ。

- * Simmel；凡そ社会的行為とは symbol を媒介にした(Meade)人と人との相互行為だ。
- * Durkheim；ある共通の関心事を実現する為の関係者の相互行為において、彼らの期待が一致した時に社会的事実が形成される。社会病を解釈し、治療することだ。
- * Parsons；社会は固定した構造 S の下で、人々の流動的な相互行為の過程 P が生みだす機能性によって自己を維持する系だ(AGIL 図)。⇒ $S \rightarrow P \rightarrow S'$ と動的に定式化すべし。
- * Marx；社会は、下部構造(経済;E)における生産力と生産関係とが照応し矛盾する関係が先導し、下部と政治・意識等の上部 Uber とが弁証法的に自己を維持し変化する系だ。
- * 森嶋；Marx と逆を言う Weber だ。上が下を先導し、下がそれに適応し、次に上を規定し、規定された上が先導的に変化して下を規定する； $U_{t+1}=M[W(U_t)]$ 、 $E_{t+1}=W[M(E_t)]$ 。
- * Hicks；期間構造・週の市場は価格に媒介された相互行為によって一般均衡を達する。

$$dp/ds=E(p)=E(\sum D_j(p)-\sum S_j(p)) \rightarrow \text{解}；p_t^*, c_{it}^*, l_{it}^*, Y_t^*, C_t^*, I_t^*。$$
- * Sen；主体 i は自己を制約する環境を解放する自由と、得られた自由を活用して目標を定立し達成する自由との4種の自由を持つ。主体 i の capability は $C_{it}=C_i\{F_i(R_{it})\}=C_i\{\mathbf{x}_{it}(\mathbf{R}_{it})\}$ 、行動関数 x_{it} は次と定式化できる； $\text{Max } V_{it}\{\mathbf{x}_{it}(\mathbf{R}_{it})\}$, subject to $\sum p_{it}x_{it}=w_{it}l_{it}$, $\sum b_{it}=24$ 。

以上を総合した系は以下；構造 $S_t \rightarrow$ 過程 $P_t \rightarrow$ 構造反作用 $S'_{t+1} \rightarrow P'_{t+1}$ 。

- [1] 構造要素； $\mathbf{x}_t=\{\mathbf{x}_{1t}, \mathbf{x}_{2t}, \mathbf{x}_{3t}, \mathbf{x}_{4t}; K_{pt}, K_{ct}\}=\{\mathbf{x}_{it}; K_{pt}, K_{ct}\}$, $i=1,2,\dots,n$, $\sum n_i=n$, $t=1,2,\dots$ 。
- [2] 主体の行動； $V_i\{\mathbf{x}_{it}(\mathbf{R}_{it})\}=V_i(c_i, l_i, o_i, a_i)=U_i(c_i, l_i, o_i, a_i)+\gamma a_i \rightarrow \max(c_i, l_i, o_i, a_i)$, subject to $p_{ci}+w_{ai}=w_{li}$, $c_i+l_i+o_i+a_i=24 \Rightarrow c_i^*, l_i^*, o_i^*, a_i^*$ 。注；vector $\mathbf{x}_i$ を (c, l, o, a) に簡単化。
- [3] 価格媒体の運動； $dp/ds=E(p)=E(\sum d_i(p)-\sum s_i(p)) \Rightarrow p_t^*, c_{it}^*, l_{it}^*, Y_t^*, C_t^*, I_t^*$ 。
 コミュニケーション媒体の運動 $da_{it}/ds=B_{it}(a_{it}; S_t)$, $i=1,\dots,n$ 。⇒ $\{a_{it}^*, o_{it}^*\}$ 。
- [4] 構造変化； $K_{pt+1}^*=R_{pt}(I_t^*, K_{pt})=I_t^*+K_{pt}$ 。 $K_{ct+1}^*=R_{ct}(a_t^*, K_{pt})=a_t^*+K_{ct}$ 。